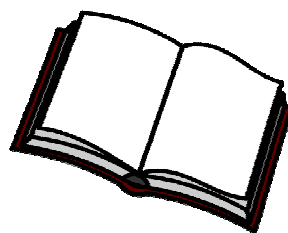


図書だより



☆碓東小の 100冊終了者☆

■低学年の部

3の1 土屋 芽依さん 3の1 柳澤 心愛さん

がんばりました！

もうすぐ夏休みです！

一学期も残りわずかとなりました。みなさんの楽しみにしている夏休みが、もうすぐはじまります。夏休み中、図書室の開館日が7回あります。この開館日を利用して、夏休み中もたくさん本を読んでください。

夏休み前の3冊貸し出し 7月10日(月)～14日(金)

夏休みの図書貸し出し日

日	月	火	水	木	金	土
7	24			27	28	
	31	8	2	3		
	7					



図書室利用時間…9時から12時20分

貸し出し冊数……3冊まで

◎開館日に、しおりの作成を行っています。一日、一人一枚作れます。自分だけのオリジナルしおりを作ってください。ぬりえもできますよ！

おすすめの新刊

『絵本 江戸のまち』

太田大輔/作

江戸時代の東京にタイムスリップ！

江戸のまちの風景と、そこに暮らす人々のようすを、綿密な絵で紹介する絵本です。江戸の風景が正確に描かれているのはもちろん、人間の表情やしぐさがひとりひとり、表情豊かにいきいきと描かれているので、絵を眺めているだけでも楽しく、江戸のまちを訪れたような気分になります。

案内役は、昔から東京に棲みついてまちの移り変わりを見てきたという設定の「妖怪小僧」というキャラクター。その妖怪小僧や、他の「隠れキャラ」たちが必ず場面のどこかに隠れているという仕掛けもあり、「さがしもの」絵本としても楽しめます。江戸に興味のある、おうちの方にもおすすめです。



『僕は上手にしゃべれない』

椎野直弥/作

小学校の頃から吃音に悩んできた主人公・柏崎悠太。当然、あるとは思っていた。入学式の日には当然これが。自己紹介があるっていうのはわかっていた。言える、言える、言える・・・言えない。自己紹介のプレッシャーに耐えられず、教室から逃げだしてしまう。その帰りに受け取った、部活動勧誘の一枚のチラシ。「誰でも上手に声が出せるようになります」という言葉に心をとらわれた。なんとかしたいという思いから、放送部に入部する。クラスメイトで同じ新入部員の女子や、優しい先輩、姉など周囲の人に助けられ、途中でくじけながらも少しずつ変わっていく悠太の葛藤と成長、そして前進の物語。

作者の椎野直弥さん自身も吃音者で、悩んでいた時期があったそうです。吃音に悩み、立ち向かった一人の少年の本気を、ぜひ読んでください。

『いじめから脱出しよう！自分をまもる方法12 か月分』

玉聞伸啓

この本では、「いじめの型」や「いじめっ子はどんなことを考えているのか」「いじめが起きるまでの流れ」など、いじめっ子側の事情を詳しく説明してあります。自分がターゲットになっていじめられていると、焦りや恐怖で周りが見えなくなります。混乱して「もう死ぬしかない」と考えてしまうかもしれません。しかし、「ああ、こういうことだったのか」と理解できると、それだけで安心します。いじめがなぜ起きるのかが分かってくると、冷静になり余裕が出てきます。そうすると、状況を見て、自分なりに行動できるようになります。

60万人以上が訪れている玉聞さんのホームページ「いじめと戦おう！」では、いじめに悩む子どもたちのメール相談に応じています。玉聞さんに相談して、いじめから脱出できた先輩たちの悩みと、解決した後



の^{こゑ}声も^{けいざい}掲載しています。いつでも^て手にとってみてください。